

県本部・活動拠点本部会議（8月19日・夕）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ ショートステイの利用限度額の取扱いについては、市町村の判断により利用者負担を減免できる旨が、事務連絡として発出されている（厚生労働省事務連絡）。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- ・ トヨオカアリーナにて、学園大学の学生4名で塗り絵を実施。
- ・ 鏡コミセンは9/1からYMCAが運営する（夜勤もYMCAが対応）。
- ・ 被災高齢者等把握事業の要配慮者名簿をもとに、明日は包括エリアごとに巡回予定。

● 宇城地域

- ・ まつばせ東にクリーニングサービスが入り、環境改善がみられている。
- ・ 避難所にて子ども支援のニーズあり。支援団体につないでいる。
- ・ 宇城包括・宇土包括 →ボラセンニーズへの対応の中で、福祉ニーズの聞き取りも行っている。
- ・ 「水晶苑」利用者の個別対応 →宇城のショートステイ利用が決定。
- ・ アンケート調査実施時に避難者への聞き取り重複が発生しているため、行政担当者に要確認。

● 氷川地域

- ・ 避難所の移設に伴うアセスメントを実施し、Kintonに入力中（医療や行政の関係者も同時に対応中）。概ね完了しているが、明日は残りを対応予定。
- ・ 福祉避難所に新たに2名受け入れ。ショート利用の限度額に達したため、福祉避難所に戻ってきた方もいる。
- ・ 明日、宮原福祉センターで2名活動予定（介護福祉士会からの派遣要請）。

● 本部

- ・ 宇土市（高齢者支援課）の動き：ケアマネが対応中。
- ・ 宇城市（高齢介護課）の動き：ケアマネが対応中。現在、避難者で移動先に困っている人の情報はないとのこと。
- ・ 施設の空き状況は、現在県庁から各施設にアンケートを実施中（8月23日㍻）。来週以降、受け入れ可能施設の状況が見えてくる予定。
- ・ 「福祉施設で介護職員が必要な場合には福祉避難所にできる」旨の通知は、本日、熊本県庁から発出予定。
- ・ 八代と宇城に熱中症ウォッチを配布済み。各拠点100個程度配布しているため、各チーム員で使い切り（持ち帰りOK）。